

活用事例

- 橋長：383.25m、幅員：10.0m
- 橋梁形式：単純合成鈑桁橋9連、
単純鋼合成箱桁橋、
- 対象部位・部材：P1橋脚
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
：BR030072-V0126
- ☆[性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



○点検支援技術の効果

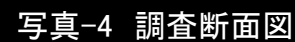
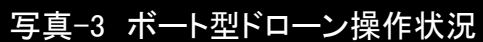
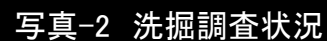
- ・プロペラが上についているため、水深が比較的浅い場所でも実施できる。
- ・従来技術と比べて、人が潜るなどの作業が発生しないため、点検の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・水上部より、様々な方向から河床形状を観測できる。
- ・人力と同様、基礎や河床形状観測と縦横断面図の作成ができ、洗掘調査への活用が可能である。

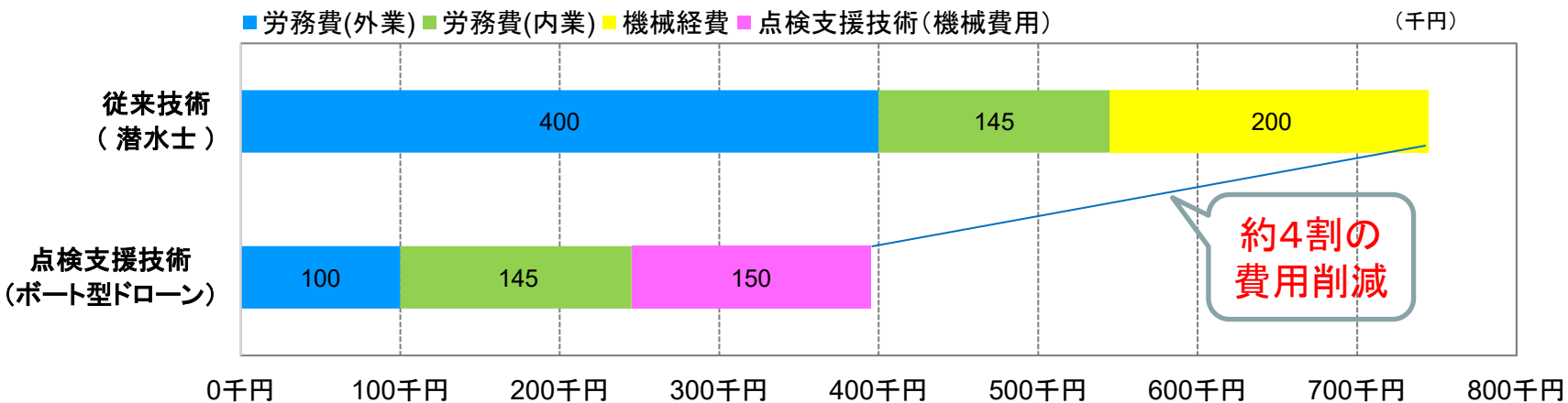
○使用時の留意事項

- ・流量及び流速などで作業の実施判断が必要となる。
- ・着水場所及び電波通信距離などから対象箇所を選定必要。



コスト比較

比較条件：P1橋脚（水中部）を洗掘調査した場合のコスト比較。
評価：従来技術と比べ、コストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	潜水土による洗掘調査	ボート型ドローンによる洗掘調査
内業	測定写真整理 縦横断面図作成	画像分析・ 縦横断面図作成
比較対象	潜水土	ボート型ドローン
合計金額	745千円	395千円
工程	1日	0.5日

○諸条件

点検面積:22.0m2

橋脚高:約10.7m(GL～桁下)

天 候:曇り

対象部位・部材:P1橋脚

進入路:有り

点検時間:9:00～17:00

たたき落とし作業:無し

積 算:業者見積もり(R7.11)

前回の健全度:Ⅱ判定